

▶ すべてのステークホルダーの皆さまへ



新しいオリンパスの創生に向けて、
土台は整いました。
引き続きコーポレート・ガバナンスの
充実を図り、皆さまからの信頼回復と
株主価値向上に向けて、
オリンパスグループ一丸となって、
全力で取り組んでいくことを
お約束します。

Resolve

— ステークホルダーとの約束 —

この2013年3月で、取締役会長に就任して1年が経ちました。新体制の1年目となった2013年3月期は、社会の基準から見て適正かつ透明性の高い新たなコーポレート・ガバナンス体制の確立に尽力してきました。経営執行と監督機能を明確に分離させた新たな経営体制へ移行し、会社の業務執行全般は社長の笹が統括し、会長である私は取締役会における議長を務める体制としました。取締役会は、独立性の高い社外取締役が過半数を占めることで、管理監督機能が十分に発揮できる環境が確立されました。社外取締役は皆、明確な問題意識と責任感を持った忌憚のない意見を多く表明していますので、経営の監視・監督機能は十分に果たされているものと考えます。取締役会が十分なガバナンス機能を発揮していると評価できる会社になったと思います。

事業に目を向けると、オリンパスは、医療用内視鏡の分野で圧倒的なシェアを確保し、診断から治療の多様なニーズに応えられる開発製造技術を持つ世界唯一のメーカーだと思っています。私は会長就任当初より、世界的な競争力を確立した非常に素晴らしい会社だと評価していました。1年経った今、その評価に間違いはなかったと改めて確信しています。着任以来、社内のさまざまな生産現場に出向き仕事の内容を知り、多くの社員との「タウンミーティング」を国内外で数多く実施してきました。そこで働いている全社員が自分の仕事に誇りを持ち、ものづくりを心から楽しんでいると感じ、オリンパスの未来は明るいとこの思いを強く抱きました。こうしたオリンパスが根源的に有する強みや競争力を最大限発揮できる環境を整えることが私の責務だと考えています。ステークホルダーの皆さまや社会から信頼される企業として再び評価をいただけるように、これからも手綱を緩めることなく、オリンパスグループ一同、一步一步着実に日々の実績を積み上げてまいります。

最後に、当社は東京証券取引所より2012年1月21日付で指定を受けていた特設注意市場銘柄から、本年6月11日付で指定を解除されました。ステークホルダーの皆さまには、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、改めて心よりお詫び申し上げます。今後も内部管理体制の整備・強化を継続するとともに、オリンパスグループ丸となって業績の向上および信頼の回復に努めてまいります。

引き続き、ステークホルダーの皆さまには、生まれ変わるオリンパスへのより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2013年8月

取締役会長

木本 泰行

木本泰行